

## 現代の国語 授業指導計画

授業者

- 1 日 時 令和6年2月16日(金) 5限
- 2 実施場所 14HR教室(南館2階)
- 3 H R 14HR
- 4 生徒観 評論の読解にも慣れ、文章の構成を意識して論理的に文章を読む力は付いてきた。しかし自分の意見を述べることにおいては未熟であり、個人の好悪や独りよがりの見方で判断してしまう傾向がある。他者を意識することによって、自分の意見を客観的に振り返り、論理的なものの見方ができる力を付けたい。
- 5 単 元 セルフ・ディベートを通じて、物事を多様な視点から考えよう。
- 6 本時の目標
- ① 個人の好き嫌いではなく他者を意識して一般的な根拠を考えることにより、論理的に物事を考える力を付ける。
  - ② 賛成・反対両方の立場の理由を検討することにより、多様な視点から物事を考え、他者と協働して課題を解決する力を付ける。
- 7 本時の展開

	指 導 事 項	留 意 点
導入 (5分)	本時の目標と活動について説明を行う。	セルフ・ディベートの形式や目的について確認する。
展開1 (10分)	「集合住宅に一人で住む場合には、上の階に住む方がよい」という論題を例に、セルフ・ディベート審査用紙の記入の仕方を確認する。	電子黒板にセルフ・ディベート審査用紙を示し、記入箇所を確認する。  賛成・反対の理由について、相互の関係や優先順位を考えて並べるようにする。
展開2 (30分)	「自転車にも運転免許が必要である」という論題について、賛成・反対両方の立場で記入し、さらにその意見に対する批判的見解を書く。  ペアで、根拠の客観性を検討する。	自分の書いた意見に対して、他の人がどのように思うかを想定して書く。
まとめ (5分)	物事を論理的に考えるために必要なことを確認し、まとめる。	学習活動を振り返り、気づいたことをノートに書く。